

ミヤコシ オープンハウス 2012 -3日間で1500人が熱い視線 -

広がる用途、基材 IJ式/
け式 に注目

LED-UV 搭載スリーブオフ機も登場

ミヤコシ（宮腰巖社長）は、「オープンハウス 2012」を11月27日から29日までの3日間、千葉県八千代市の同社POD事業本部クリーンルーム/デモルームで開催した。当日はdrupa2012出展の2機種をはじめ、初出展4機種を含む計11機種を出展、連日9回の実演を行った。このオープンハウスの焦点はフルカラーインクジェットプリンターと液体トナー方式電子写真プリンターのデジタル印刷システム。省スペースのエントリー機や薄フィルム、ラベルなど用途に対応したラインアップ化が目立った。またデジタルプレス以外では開発中のスリーブ式オフセット印刷機出展などが注目を集めた。なお、会期中の来場者数は1500人に達した。

連日9回の実演を実施

会場は奥から順にA、B、Cの3会場に分けて出展機を配置した。

C会場には、新製品のスリーブ式LED-UVオフセット印刷機「MHL13A-3000」が初出展されていた。

これは、ラベルおよびフィルム基材への高品質、高生産印刷を目的にしたもので、スリーブ構造の版胴とブランケット胴を採用、ジョブ替え・サイズ替え作業を大幅に簡易化し、かつ最新のLED-UV乾燥システムにより基材への熱の影響を最小化し薄フィルムを含む多様な基材への対応を可能にする。

スリーブ式オフセットを採用したのは、版胴とブランケット胴を本機の駆動（ギア駆動）から切り離し、印刷ユニットへ外部から挿入しサーボモーターで駆動させることにより、ジョブ替え・サイズ替えを迅速に容易に行えるようにすることを狙いとしている。

印刷・加工リピート範囲はいずれも381～609.5mmで印刷最高速度は毎分100m。また、スリーブにはミヤコシ開発のメタルスリーブを採用していたが、今後はプラスチックスリーブも採用予定。

印刷と連動した加工はロータリー式（マグネット胴＋フレキシブルダイ）となっている。

B会場には、drupa2012出展機のフルカラーインクジェットプリンター「MJP20MX-7000」を出展。

同機は広告付きの帳票類、通知書などに象徴されるように商業印刷とデジタル印刷の融合化に対応した高速多色機。

印刷最高速度は、1200×1200dpi時に毎分160m、1200×600dpi時に毎分320m。色数

は CMYK+特色の 8 色まで。最大印刷幅は 508mm。

同じく初出展機「MJP20EX-6000」は、20MX の 1 タワー型エントリーモデル機であり、最大 6 色印刷を実現、1200×1200dpi 時に毎分 80m、1200×600dpi 時に毎分 160m で小ロット多品種に最適の機種。

初出展機のラベル用フルカラーインクジェットプリンター「MJP13LX-2000」は 13 インチ幅のラベル専用機。

1200×1200dpi の高解像度と最大 8 色印刷で毎分 50m の最高域の生産性を誇る。また水性顔料インク採用によりランニングコスト低減も実現。

また、レーザー加工機「MSP13A-10000」も初出展された。

CO₂ レーザーを使用し、150W の出力。ラベル特有のさまざまなパターンの可変加工を可能にする。ラベル用インクジェットプリンターに組み込むことにより可変印刷と可変加工のインラインを実現する。

drupa2012 出展機でリョービと共同開発した液体トナー方式電子写真プリンター「MiyakoshiDigitalPress (MDP) 8000」は商業印刷やパッケージ用途でオフセット印刷に迫る高品質と高速性を誇る。超微細液体トナーと電子写真印刷方式の採用により 1200×1200dpi の高画質を実現しつつ、毎時 8000 枚の高生産性を達成している。

最大 788×600mm (B2 判相当) の用紙に対応、また最大 0.4mm 厚までの紙に対応するので商業印刷に加え紙器パッケージ印刷にも対応する。圧胴式のグリッパー用紙搬送システムを採用し、オフセット枚葉機と同等の用紙搬送精度を実現。

A 会場には、ミヤコシ独自のフルカラーインクジェットプリンター「MJP」シリーズ 2 機種と液体トナー方式電子写真プリンター「MDP5000」、布地等ワイドフォーマット対応シリアルプリンター「TXP」の 4 機種が出展されていた。

「MJP20F」はミヤコシ独自の用紙搬送技術で 1 タワー表裏 5 色印刷を実現、最小の機械装置スペースで毎分 200m (600×600dpi 時) の高速印刷が可能。取引文書、請求書、個人向け教材など個人向けドキュメントの大量出力に適している。

「MJP20W」は LED-UV 搭載のフルカラーインクジェットプリンターは乾燥時の熱を最小限に抑えるので、基材の収縮を防ぎ、フィルムから 400g/m² の厚紙まで幅広い種類の基材に対応、紙器、軟包装のオンデマンド印刷に適する。

「TXP18A」は最大 1960mm までの広幅基材への 8 色オンデマンド印刷を可能にするシリアルプリンター。世界最速となる毎時 400m² の高い生産性で短納期に対応、かつ 600×1200dpi の高解像度で高付加価値印刷を達成できる。布地印刷やその他広幅基材に対応する。

「MDP5000」は超微細液体トナーと電子写真方式を採用した給紙式デジタルプレス。1200×1200dpi の高解像度で毎分 100m の高速印刷が可能であり、商業印刷分野で高品質可変印刷を実現する。

(2012 年 12 月 13 日 印刷新報 掲載)